

令和2年度 川場村のあゆみ

令和2年1月、中国湖南省武漢市において原因不明の重症肺炎の集積が報告されました。原因不明の肺炎患者から検出されたのは新種のコロナウイルス。同月には、日本国内においても初の感染者が出たとの発表。同一空間を共有した者の間でヒトーヒト感染と推測されました。その後、ダイヤモンドプリンセス号における感染等、国内において感染が広がりを見せ4月7日、東京、埼玉、千葉、神奈川、大阪、福岡、兵庫の7都府県を対象に初の緊急事態宣言発令。感染は収まらず16日に対象が全国へと。様々な行事が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる1年でした。

新型コロナウイルス感染症拡大防止による川場村の現状(5月31日までの川場村での対応)

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、『川場村新型コロナウイルス感染症対策本部』を設置し会議を開催しています。

会議開催日

第1回	令和2年2月28日
第2回	令和2年3月2日
第3回	令和2年4月8日
第4回	令和2年4月14日
第5回	令和2年4月19日
第6回	令和2年4月20日
第7回	令和2年5月7日

◎小学校・中学校、5月31日(日)まで臨時休校。



◎学童保育、5月31日(日)までの間、規模を縮小しての開所。



◎かわば森のこども園、5月31日(日)までの間、規模を縮小しての開園。



◎役場執務体制について、執務室を分ける分散制に併せて「在宅勤務」と「職場勤務」による2チーム交代制を実施しておりましたが、5月11日(月)より執務室を分ける分散制のみとなりました。

◎以下の体育施設・観光・公共施設、5月31日(日)までの間、閉鎖。

- ・川場村体育館
- ・川場村テニスコート
- ・ターゲットバードゴルフ場
- ・川場村スポーツ広場(サッカー場)
- ・川場村スポーツクラブ(スポーツジムは群馬県の休止要請に合わせて対応します。)
- ・川場村歴史民俗資料館
- ・てんぐ山公園
- ・文化会館図書室

新型コロナウイルス対策村民支援

◎消毒用次亜塩素酸水 希望者配布 4月25日(土)
(1世帯につき1本)



◎ マスク配布(村民1人につき10枚)

消毒用次亜塩素酸水配布 5月12日(火) (1世帯 1リットル1本)



出発式をおこなった後、役場職員が各戸へマスクと消毒用次亜塩素酸水を配布しました。

マスクの調達「(株)東洋エンタープライズ様」

次亜塩素酸水液「川場村社会福祉協議会様」「永井歯科 永井晃様」

ペットボトル容器「(株)ニチネン様」

多大なるご協力をいただきました。皆様の善意に感謝いたします。

◎5月12日(火)より

特別定額給付金の申請・給付開始

川場村では、特定定額給付金（1人10万円）の申請書を5月7日に発送。5月12日より申請受付を開始しました。5月22日現在1,056件（94%）の申請がありました。



◎新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

川場村では、臨時交付金を活用して住民生活や地域経済の支援を行います。

☆子育て世帯支援金について

対象者：国が支給する令和2年度子育て世帯への臨時特別給付金を川場村から受給する方を対象として、該当児童1人につき15,000円を支給します。改めての申請は不要とし、児童手当支払い口座（公務員等は申請書の口座）に6月末日までに子育て世帯への臨時特別給付金とあわせて入金します。

☆家計急変学生等支援金について

対象者：基準日（令和2年4月27日）において川場村の住民基本台帳に登録されている方の収入により生活を維持している方で、高校・大学またはこれらに相当する課程を有する学校（予備校等含む）等に在籍している学生のうち、誕生日が平成10年4月2日以降の方を対象として支援金を支給いたします。相当課程に在籍する学生1人につき20,000円（ただし、高校1年生には別途子育て支援臨時特別給付金として15,000円がしきゅうされるため5,000円を支給します。）、大学相当課程（予備高含む）に在籍する学生1人につき50,000円を支給します。該当すると思われる方が属する世帯の世帯主に対し、申請書を6月中に送付しますので、必要事項を記入して提出してください。

☆川場村共通商品券について

対象者：川場村全世帯に川場村共通商品券（1万円分）を簡易書留で6月中に郵送します。また、1万3千円の商品券が1万円で買えるプレミアム商品券2000セットを川場村商工会で7月1日より販売いたします。

☆経営支援助成金について

対象者：国の「持続化給付金」対象外で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業や個人事業主に万円を給付します。

（※影響：令和2年2月～6月のうち1ヶ月の売上高が、前年同月比30%以上50%未満減少）申請期限は令和2年8月31日（月）までです。

☆新規市場開拓支援事業「川場村チャレンジ応援補助金」について

対象者：村内に主たる事業所又は事業拠点を置いている中小企業若しくは個人事業

主又は村内に住居登録（令和2年4月30日時点）をしている個人事業主で、①川場村特産品（村が認める特産品）の新規市場開拓するため各種事業展開に要する経費②川場村特産品（村が認める特産品）輸出展開を図るために要する経費を助成します。

☆「川場村新型コロナウイルス感染症をともに乗り越える寄附金」

川場村では、この緊急事態にあたって寄附金の募集を開始しました。教育現場や福祉現場に必要な物資の購入等、川場村の対策に幅広く活用するものです。

KAMIKABE〈かみかべ〉とは・・・

建設業ならではの「避難所のかたちを整える装置」

安心スペース・3密対策・仮住まいの質を高めるパーティション



新型コロナウイルス感染症の拡大が心配される中、様々な災害時に避難所を開設するにあたり、感染症対策に万全を期すことが重要視されています。

複合災害に備え、群馬県建設業会沼田支部の方々のご指導をいただきながら、役場職員を対象にKAMIKABE〈かみかべ〉組み立て訓練が行われました。

また、川場村建設業協会有志

(株)新栄建設様・(株)関工務所様・星野土建(株)・(株)ヨシノ様より川場村へKAMIKABE〈かみかべ〉30基が贈られました。



非接触型顔認証検温システム設置

新型コロナウイルス感染対策の強化で、検温と手指の消毒が同時に可能な非接触型顔認証検温システムを小学校・中学校・役場庁舎・教育委員会の4カ所へ設置しました。

タブレット端末の画面に映った人の体温を数秒で計測すると同時に、自動噴霧器での消毒ができます。

学校などにおける検温の負担軽減につなげると共に無症状感染者が多い中で、第2波に備えてこれまで以上の防止対策が必要と外山村長は話されました。



株式会社ニチネン様より



株式会社ニチネン 代表取締役社長 小林裕一郎様より川場村へ、防災備蓄品として「武尊の天然水」2リットル1,100本(川場村全世帯数)の寄贈が行われました。

株式会社ニチネンは、2019年12月に「ニチネン川場事業所」として川場村で飲料水の新工場を稼働。5月に全戸配布した消毒液用のペットボトル容器も株式会社ニチネンからの寄贈でした。

9月1日、防災の日には、川場村と株式会社ニチネンとで防災協定を締結。

小林社長は「災害協定を皮きりに川場村に対し、少しでもお役に立てるよう努めていきたい。」と。また、今年度だけでなく、毎年防災備蓄品として川場村全世帯数の水を寄贈していただけるとのことです。「株式会社ニチネン様は、川場村の企業誘致。業種が水ということで、いろいろな場面において大変助かります。緊急事態において、いろいろなかたちで協力していただき大変ありがたい。」と外山村長は話されました。

家族の絆でSTOP！！



芸能界で活躍されている方々による「ストップ・オレオレ詐欺47～家族の絆大作戦」プロジェクトチームが発足し、特殊詐欺被害を防ごうと、警察庁特別防犯対策監を務める、俳優の杉良太郎さんと特別防犯支援官の皆さんがプロジェクトチームの活動として来村されました。

『大切な家族や友人を守ろう

ストップ！オレオレ詐欺

あなたの家族・友人は大丈夫？

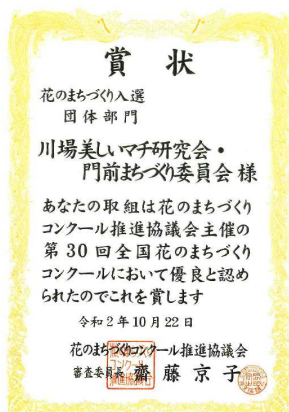
いまずぐ連絡を取って、皆で詐欺対策！』

川場村では現在、詐欺被害件数ゼロということで、大変驚かれていた杉良太郎さんでした。川場住民との懇談会、田園プラザ・木質バイオマス発電所・ライスセンターの視察をされました。

家族の絆で特殊詐欺の被害を撲滅しましょう！！家族の絆で勝つ！！



第30回「全国花のまちづくりコンクール」入選



1990年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会」を契機に、その基本理念「自然と人間の共生」を継承し、それを発展させるため、1991年から「全国花のまちづくりコンクール」が始まりました。

今年30回目を迎えた「全国花のまちづくりコンクール」において、川場美しいマチ研究会・門前まちづくり委員会が応募者数1,690件の中から見事に団体部門にて入選いたしました。

川場美しいマチ研究会は、初代会長である故鈴木忠義先生が、世田谷区と縁組協定している川場村の美しい景観を守るため、緑化修景を村民稼働で行い、美しい里山景観の創出をはかることを目的とし、平成18年に立ち上げたものです。

平成20年、当時村会議員であった故戸丸和三氏が委員長として「門前まちづくり構想委員会」が発足。平成22年より川場美しいマチ研究会と門前まちづくり委員による「わが村わが庭」植花活動がスタートしました。「わが村わが庭」運動は、故鈴木先生が提唱されました。それぞれの家庭の庭が美しくなれば、自然に村内全域が美しい景観となる。この運動の実践の一つが今回の事例となりました。故鈴木先生の川場村に対する強い思いから発想されたものです。歩いて田園の魅力を満喫できる。四季を楽しめる里。川場村を地域の自然や文化を調和した庭のようにして後世にのこそう！そんな思いを胸に。



鈴木忠義先生・戸丸和三氏もきっと今回の受賞を喜んでいることではないでしょうか。

「未来へ向けて交流を続け、それが文化となる日を夢見たい。」と現会長である鈴木誠氏。初代会長の遺志を継ぎ、川場美しいマチ研究会・門前まちづくり委員会は活動しています。

富士山活性化協議会が農林水産大臣賞を受賞

～ 集落全体を盛り上げる活動が評価されました ～



11月11日（水）さいたま新都心合同庁舎にて、令和2年度豊かなむらづくり全国表彰事業関東ブロック表彰式（主催・関東農政局）が行われ、富士山活性化協議会が農林水産大臣賞の表彰を受けました。棚田オーナーによる棚田の維持、竹灯籠を棚田に灯すイベント開催、紅花栽培や加工品生産を通じ、集落全体で取り組んでいること、年間延べ5,000人近い人々が集落を訪れていることなどが評価され、今回



人近い人々が集落を訪れていることなどが評価され、今回

の受賞となりました。

『(株)雪ほたかが食育推進活動優良表彰に選ばれました！』

食育推進活動優良表彰は、群馬県の食育推進活動を促進するとともに、県民の食育に対する関心を高めることを目的として創設された群馬県知事表彰であり、県内において食育の推進に貢献した個人や団体を表彰するものです。

表彰には5部門があり、このうち企業部門から、本村の(株)雪ほたかが優れた活動を行っている団体として選ばれました。

毎年、小学5年生の総合学習の一環として田植祭・抜穂祭を実施しており、古式に則った衣装に扮し豊作を祈願するなど、地元食文化継承に貢献する活動が評価されました。



雪ほたか 令和2年産も各大会で軒並み高評価！！

～「大阪府民のいっちゃんうまい米コンテスト」ではグランプリを受賞～

米・食味分析鑑定コンクール：国際大会

11月28日（土）に国内最大規模を誇る「第22回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会 in 富士山」（主催：米・食味鑑定士協会など）の最終官能審査が静岡県小山町で開催されました。総出品点数4,755点。雪ほたかのお米は、国際総合部門で特別優秀賞、栽培別部門（水田環境特A）で金賞、特別優秀賞を受賞しました。新型コロナ予防対策に万全を期して、無観客開催となった今大会の様子はYouTube「米コン#22事務局」チャンネルで配信されています。また来年第23回大会は引き続き、静岡県小山町で令和3年11月27日（土）、28日（日）に予定されています。

【国際総合部門】

特別優秀賞 小林仁志（立岩）

【栽培別部門（水田環境特A）】

金賞 角田稜典（川場湯原）

特別優秀賞 関 久由（生品）

お米日本一コンテスト in しずおか

12月17日（木）～18日（金）に「第17回お米日本一コンテスト in しずおか」（主催：静岡県など）が無観客にて開催されました。総出品点数636点のうち、最終審査に残った出品75点について、食味官能審査が行われました。上位30点に与えられる金賞を天神の高井勝久さんが受賞しました。

金賞 高井勝久（天神）

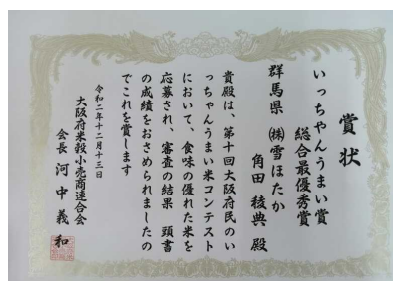
入賞 細谷市衛（門前）

大阪府民のいっちゃんうまい米コンテスト

12月13日（日）に「第10回大阪府民のいっちゃんうまい米コンテスト」（主催：大阪府米穀小売商連合会）の最終審査が大阪ガス・淀屋橋クッキングスクールを会場に、五ツ星お米マイスター10名による食味官能審査が行われ、全国から出品された298品の頂点である大阪府知事賞（いっちゃんうまい最優秀賞）に（株）雪ほたかの角田稜典さんが選ばれました。節目の10回目の大会は無観客となりましたが、大阪府米穀小売商連合会では、グランプリに輝いたお米を大阪府民に提供し、広く普及させていきたいとのことでした。

グランプリ大阪府知事賞

角田稜典（川場湯原）



給食甲子園で優秀賞



第15回「全国学校給食甲子園」において1412の学校や施設が応募する中、川場村給食センターが見事優秀賞を受賞しました。

例年は会場で調理し、味の審査も行われていましたが新型コロナウイルス感染症の影響で今年度は書類審査のみ。

川場村給食センターでは、地元で取れる食材への理解や生産者に感謝する気持ちを育むため児童生徒に対する食育に力を入れています。給食や川場の食材に対し、「子どもや保護者の関心がより高まれば」と願っている遠藤まみ栄養教諭。郷土料理を始め、行事食、日本各地・各国の料理等、普段味わうことのできないメニューが並ぶと子ども達も興味津々。日々の献立にも力が入っています。

今回応募した献立は、ブランド米「雪ほたか」のご飯、北毛の生乳を使った牛乳、村で考案された「よかっぺ汁」子ども達の大好きな「大豆とレバーの揚げ煮」群馬県産野菜をふんだんに使った「カリカリ梅和え」川場産「ブルーベリー」です。

給食甲子園の事務局は「川場村は食材が豊富で、先生や生産者が食育に熱心。子ども達の食への関心、愛着が高まりやすい環境である。」と評価されました。



土田酒造「シン・ツチダ」

日本酒専門WEBメディア「SAKETIMES」2020年を締めくくる企画。
Twitter #2020年最高の日本酒にて土田酒造の「シン・ツチダ」がもっとも多くの人

に選ばれたことを土田酒造株式会社 土田祐士社長が報告に訪れました。

現代の酒造りで一般的に行われている人為的な酵母添加・乳酸の添加・その他発酵補助剤等を一切使用しない、江戸時代の製法で精米歩合90%の食用米を用い、近代的な酒造設置と伝統的な醸造技術からうまれたお酒だそうです。

「開栓し1～2週間経ってから呑むとさらにおいしくなっている！」

「常温放置での育成が楽しすぎました！」などの書き込みが寄せられていました。



定住自立圏形成協定合同調印式



利根沼田地区5市町村が、自治体の枠を超え行政サービスを充実させる定住自立圏形成協定を締結しました。

沼田市役所で開かれた協定の調印式には5市町村の首長が出席し、医療と福祉・教育・産業振興・環境・衛生の計15事業で生活機能を強化するとの協定書に調印しました。

永井酒造株式会社 スパークリング清酒「MIZUBASHO PURE」

フランス『Kura Master 2020』サケ・スパークリング部門最高賞を受賞

永井酒造株式会社、永井則吉社長・永井松美取締役が村長室を訪れ、フランス国内のトップソムリエの方が厳選な審査を行う国際日本酒コンテスト『Kura Master 2020』において「MIZUBASHO PURE」がサケ・スパークリング部門において最高賞である「審査員賞」を受賞し、スパークリング部門でNo.1に輝いたことを報告されました。「シャンパンの本場フランスで、一番とりたかった賞をとれたことは本当に嬉しい。次は、イギリスの大会での受賞を目指したい。」と永井社長は、新たな目標への意気込みを話されました。外山村長は、「川場村としても大変名誉なこと。」と今回の受賞を祝福しました。



東京 2020 オリンピック聖火リレー

令和3年3月25日に福島県をスタートした東京2020オリンピック聖火リレーが、栃木県を経て群馬県に入りました。本村には、31日に「川場村体育館前駐車場」から「田園プラザかわばの第4駐車場」までのコースを、6名のランナーが聖火をつなぎ、次の藤岡市へと無事に聖火を届けることができました。

スタート地点では「ミニセレブレーション」を実施し、ウェルカムプログラムとして上



州武尊太鼓連の勇ましい演奏を披露していただきました。

利根沼田の首長をはじめとする来賓や、事前募集に応募された 75 名の観覧者の皆さんが見守るなか、第一走者として本村の星野 緑さん（川場湯原）が登場、外山村長がトーチに点火しスタートすると大きな拍手が送られ、笑顔で声援に応えながらゆっくりと会場を走り抜けていきました。



コース上では、小さなお子さんからお年寄りまで、大勢の観覧者が手旗や拍手で歓声を送り、この一大イベントを楽しんでいました。

ゴールとなった田園プラザかわばの第 4 駐車場では、かわば・春駒チェリーズによるだんべえ踊りで盛り上げていただいたことで、多くの観覧者で賑わい、素晴らしいゴールシーンとなりました。



今後、聖火リレーは全ての都道府県をリレーし、7月23日に開催予定の「東京 2020 オリンピック開会式」へとつながっていきます。

未だに、終息の兆しの見えない新型コロナウイルス感染症ですが、令和 3 年 5 月には川場村でも 65 才以上の高齢者を対象に新型コロナウイルスワクチン接種が始まる予定です。